

郵便  
報知新聞  
第六百四十三号

師磨縣下井上村藤井何某、物領息子  
 本平が今年一月賞ひ、花塚の同縣下吉  
 福出屋敷小山が娘めて美津江と云言置は  
 年猶廿二るが三月廿七日夫と共ふ芝居見  
 物お往る所一運のつじ昔契し清  
 五郎と云りのと落合一清五郎一採き  
 之の跡先を代夫定も美津江の側  
 近付て何ういぢきさぶらういぢと  
 太平見とめ強く妻と叱りてさうく  
 伴ひ家より之が猶腹の以翌朝仲  
 人を呼て談判中二階の物音やう  
 ぬい何妻やんと上りらんに情も美  
 津江の面目もや思ひんかくし極め  
 立派に自害して果たり

松林伯圓誌



松林伯圓誌

